

AOU ニュース

愛されるゲーム場・親しまれる業界

エーオーユー

AOU ニュース 4月号

発行人 社団法人全日本アミューズメント

施設営業者協会連合会

〒101 東京都千代田区神田須田町1-4-1

TSI須田町ビル6F

TEL. 03 (3253) 5671~2

FAX. 03 (3253) 5688

編集人 AOU広報委員会

発行日 平成9年3月31日

平成8年度「ゲームセンター利用者調査」集計結果

昨年11月に実施された「ゲームセンター利用者調査」のアンケート集計結果が先ほどまとまった。このアンケートはAOU、JAMMA、NSAの3団体共催による「ゲームの日」イベント開催を機に実施されたものである。

〔調査方法〕
当協会会員等の運営する全国のゲームセンターにアンケートハガキを配付し、郵送回収した。
〔調査期間〕
平成8年11月1日～平成8年11月30日
〔回収結果〕
回収数1万3376枚（うち、有効枚数1万3312枚・無効枚数64枚）

回答者に見る利用客層

男女別では、男性客が約62%で女性客が約38%となっており、下図の通り過去4回の調査でも女性客が増加傾向にあるのが窺えたが、男性と女性の比率が7対3から6対4に近づき、顕著な伸びを示した。

学校・職業別では、小中高生及び学生が44・5%（小中高生のみでは30・8%）、会社員・主婦等の社会人が47・4%とそれぞれほぼ半数近くを占めており、ゲームセンターが社会の各層に愛好されている結果となっている。

年齢別では、20歳以下が43・4%、30歳以下が87・9%と圧倒的に若年層によって占められ、あらためて店舗の運営において青少年への配慮が欠かせないことが確認できる。

利用客の男女構成比の推移

	男性	女性
平成8年11月 (13,312)	61.8%	38.2%
平成7年11月 (21,834)	66.1%	33.9%
平成6年12月 (15,544)	71.4%	28.6%
平成5年12月 (10,474)	73.9%	26.1%
平成4年12月 (4,523)	69.9%	30.1%

() 内は回答数

学校・職業別の回収状況

	男性	女性	合計	構成率
小学校	528	334	862	6.5
中学校	884	310	1194	9.0
高校	1396	641	2037	15.3
大学	988	339	1327	10.0
その他学校	304	184	488	3.7
アルバイト	566	312	878	6.6
サラリーマン	2639	—	2639	19.8
OL	—	1147	1147	8.6
自営業	258	49	307	2.3
主婦	—	1351	1351	10.1
その他	602	388	990	7.4
無回答	57	35	92	0.7
合計	8222	5090	13312	100.0

質問1. どのようなときゲームセンターに行きますか。

区分	ゲームを目的に	景品を獲得に	気分転換に	時間つぶしに	デートのときに	その他	無回答	合計
回答数	6476	1422	2715	1427	819	435	18	13312
構成比	48.6	10.7	20.4	10.7	6.2	3.3	0.1	100.0

	小学校	中学校	高校	大学その他学校	アルバイト 自営業7割以上	OL	主婦	その他	不明	合計
ゲームを目的に	575	689	1040	968	2055	344	363	407	35	6476
景品を獲得に	93	101	101	167	334	144	363	108	11	1422
気分転換に	97	266	440	282	731	250	394	236	19	2715
時間つぶしに	62	85	303	271	373	116	112	94	11	1427
デートのときに	1	16	101	92	226	274	15	86	8	819
その他	33	35	50	35	104	15	101	55	7	435
無回答	1	2	2	0	1	4	3	4	1	18
合計	862	1194	2037	1815	3824	1147	1351	990	92	13312

（前回10・1%）を加えると、59・3%（前回52・3%）の客がゲームのプレイ自体を目的に来場していることになった。

前記の客を積極派とすれば、「気分転換に」「時間つぶしに」「デートのときに」「その他」の消極派といえる客は40・6%（前回47・5%）にのぼり、利用客の動機が多岐にわたっているが、昨年と比べ積極派が7%増加した。

学校・職業別に見ると、小中高生では「ゲームを目的に」がそれぞれ66・7%、57・7%、51・0%といずれも全体より高く、「景品を獲得に」は小学生は10・7%、中学生は8・4%、高校生は4・9%と、中学生及び高校生は全体に比べ低い。

社会人を見ると、「ゲームを目的に」が43・6%、「景品を獲得に」が13・3%、「気分転換に」が21・7%となっている。その他目立ったところでは、「景品を獲得に」は、OLでは12・5%、主婦では26・8%と比較的多く、またOLは「デートのときに」が23・8%とかなり多い。

質問2. 一カ月に平均何回位ゲームセンターに行きますか。

回数	1～3回	4～5回	6～10回	11回～15回	16回～20回
回答数	3768	2919	2963	1150	723
構成比	28.3	21.9	22.3	8.6	5.4

	21回～25回	26回以上	無回答	合計
	665	1086	38	13312
	5.0	8.2	0.3	100.0

▼質問2▲
1カ月に平均何回位ゲームセンターに行きますか。
1カ月間の利用回数は、「1～5回」が50・2%と半数を占めている一方で、「16回以上」が18・6%と利用回数の比較的多い客も目立っている。
11～18歳の利用客では、「16回以上」が23・4%と全体に比べ利用頻度が高い。

質問3. 1回行くときの位いますか。

時間	30分まで	30～1時間	1～1.5時間	1.5～2時間	2～2.5時間	2.5～3時間	3時間以上	無回答	合計
回答数	1514	3647	1761	2519	478	926	2449	18	13312
構成比	11.4	27.4	13.2	18.9	3.6	7.0	18.4	0.1	100.0

▼質問3▲
1回行くときの位いますか。
1時間間隔で見ると、「1時間以内」が38・8%と最も多く、これに「1～2時間」が32・1%と続いている。両者をあわせると70・9%となり、利用客の大半は「2時間以内」で遊んでいることになる。また「2～3時間」は10・6%とぐんと少なくなる。ただし「3時間以上」で

質問4. 1回にどの位ゲーム代を使いますか。

金額	200円まで	200～500円	500～1000円	1000～1500円	1500～2000円	2000～3000円	3000～5000円	5000円以上	無回答	合計
回答数	684	2320	3554	2089	1932	1588	607	529	9	13312
構成比	5.1	17.4	26.7	15.7	14.5	11.9	4.6	4.0	0.1	100.0

も18・4%を占め、比較的長時間の利用客も見逃せない。
▼質問4▲
1回にどの位ゲーム代を使いますか。

質問5. カラオケや遊園地と比べてゲームセンターで使う費用はどうか。

区分	高い	普通	安い	無回答	合計
回答数	1837	6486	4931	58	13312
構成比	13.8	48.7	37.1	0.4	100.0

▼質問5▲
カラオケや遊園地と比べてゲームセンターで使う費用はどうですか。
1回当たりの消費額は、「500円まで」が22・5%、「1000円まで」が49・2%とあるように、比較的料金で遊んでいる客が多く、半数近い客が1000円以内で遊んでいる。また利用客の約80%は2000円以内で遊んでいる。

これは、質問5に見るように、ゲーム料金に「普通」「安い」と答えた客が85%と、ゲーム料金に高い満足度を示している結果を反映しているといえる。

1回当たりの消費額の過去の推移

	200円まで	200～500円	500～1000円	1000～2000円	2000～3000円	3000～5000円	5000円以上	無回答	合計
平成8年11月	684	2320	3554	4021	1588	607	529	9	13312
平成7年11月	914	3823	5761	5923	3241	1239	930	3	21834
平成6年12月	914	3075	4422	3649	2044	821	604	15	15544
平成5年12月	548	1804	3213	2543	1463	501	393	9	10474
平成4年12月	273	750	1349	1115	652	219	154	11	4523

は「500円まで」が37・9%、「1000円まで」が66・9%と、消費額の少ない客が船隊的に比べ多いが、一方で「3000円以上」が3・7%と、18歳未満としては高額を消費している客も見られ、青少年の健全育成の上からも注意を要する。

また前回の調査結果と比較すると、少額化の傾向を示している。

質問6. ゲームセンターの様子はどうか。(複数回答)

区分	明るい	きれい	楽しい	入りやすい	気分がよい	暗い
回答数	4845	3460	8428	4852	1925	406
構成比	19.1	13.6	33.2	19.1	7.6	1.6

	汚れている	つまらない	入りにくい	気分が悪い	合計
	571	140	435	292	2534
	2.3	0.6	1.7	1.2	100.0

▼質問6▲
ゲームセンターの様子はどうか。(複数回答)
「明るい」「きれい」「楽しい」などの肯定的な回答が92・6%を占め、管理者の努力が確実に成果をあげている結果となっている。否定的な回答は7・4%ながら、多い順に「汚れている」「入りにくい」「暗い」とあり、改善に向けて一層の奮起を期待したい。

質問 7. 従業員の感じはどうですか。

	とても良い	良 い	普 通	悪 い	ひどく悪い	無回答	合 計
態 度	4499	3399	4792	508	97	17	13312
(構成比)	33.8	25.6	36.0	3.8	0.7	0.1	100.0
言葉使い	4114	3335	5311	398	128	26	13312
(構成比)	30.9	25.1	39.9	3.0	0.9	0.2	100.0
服 装	4214	3609	4968	341	137	43	13312
(構成比)	31.7	27.1	37.3	2.6	1.0	0.3	100.0

▼質問 7 ▲
従業員の感じはどうですか。
「態度」「言葉使い」「服装」のいずれにおいても、「悪い」「ひどく悪い」の否定的な回答は、前回調査に比べ 0.5 ～ 0.7 ポイント増加してお

り、改善努力が要求される。利用客の約 95% が「とても良い」「良い」「普通」と回答しているが、店舗の管理者としては、少なくとも「良い」と評価を得て初めて満足できる結果といえるだろう。

質問 8. 最近 1 年間でいやな思いをしたことがありますか。

区 分	ない	いじめにあった	たかりにあった	注意を受けた	機械の故障で	従業員のいざこざで	その他	無回答	合 計
回答数	10018	204	169	264	1814	197	523	123	13312
構成比	75.3	1.5	1.3	2.0	13.6	1.5	3.9	0.9	100.0

▼質問 8 ▲
最近 1 年間でいやな思いをしたことがありますか。
利用客の 75.3% は「ない」と答えているが、24.7% が「いやな思いをした」こととなり、看過できない結果となっている。

前回調査では「いやな思いをした」は 26.2% であり、「機械の故障で」は 16.2% であった。それぞれ若干のポイント減少しているが、未だ改善結果にはほど遠いと言わなければならない。故障した機械の放置は、店舗の雰囲気や被害をすることはもちろん、サービス云々依然の問題であることを肝に銘じて、機械の点検には一層の注意を払いたい。
また「注意を受けた」「従業員とのいざこざ」が 3.5% とあり、青少年への教育的配慮を持ちつつ、サービス業としての節度ある接客を期待したい。

テレビゲーム機を選んだ方は、どのタイプのゲームが好きですか。

1. 格闘技ゲーム	4235
2. スポーツゲーム	1242
3. シューティングゲーム	1008
4. パズルゲーム	847
5. クイズゲーム	558
6. 麻雀ゲーム	385
7. その他	249

質問 9. どんなゲーム機が好きですか。3 つ選んで下さい。

1. テレビゲーム	7715	7. ガンゲーム	1932
2. 景品の出るゲーム	6908	8. モグラ叩きゲーム	1786
3. メダルゲーム	6406	9. 乗物	1106
4. ドライブゲーム	5270	10. フリッパーゲーム	832
5. スポーツタイプのゲーム	3124	11. 宇宙遊泳等の体感ゲーム	796
6. 占い機	2166	12. その他	444

▼質問 9 ▲
どんなゲーム機が好きですか。3 つ選んで下さい。

質問 10. あなたはこれからゲームセンターで遊びますか。

区 分	これから遊びに行く	回数は減っても、時々行く	ほとんど行かなくなる	無回答	合計
回答数	9854	2924	229	305	13312
構成比	74.0	22.0	1.7	2.3	100.0

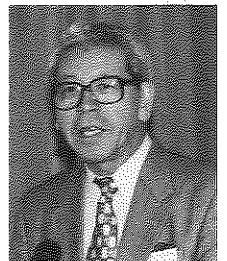
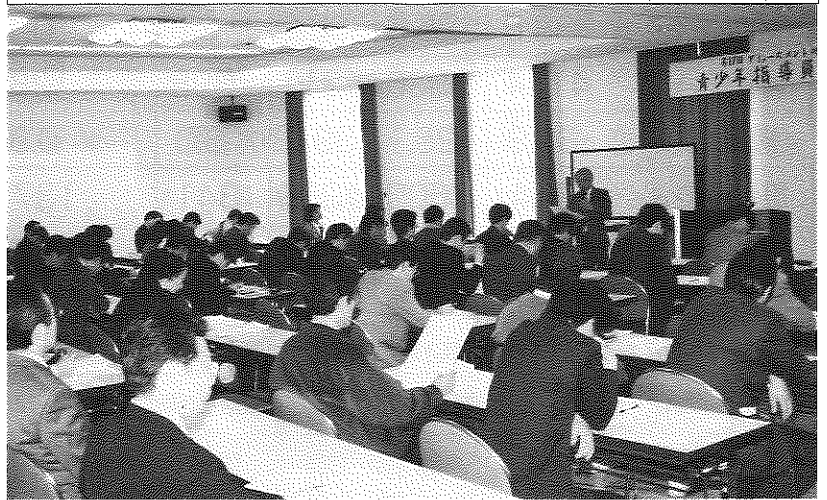
▼質問 10 ▲
あなたはこれからゲームセンターで遊びますか。
あなたは何かくらいまで遊びに行くと思いますか。
96.0% の利用客が「これから遊びに行く」と答えているのは、明るい材料である。また半数を超える 57.2% の利用客が「40 歳まで遊びに行く」と答えており、ゲームの面白さが大人をも十分に引きつけている状況が窺える。

あなたは何かくらいまで遊びに行くと思いますか。

区 分	20歳まで	25歳まで	30歳まで	40歳まで	50歳まで	60歳まで	ずっと	無回答	合計
回答数	1258	1897	2262	1698	561	282	5088	266	13312
構成比	9.5	14.3	17.0	12.7	4.2	2.1	38.2	2.0	100.0

11 ～ 17 歳の利用客では、24.7% が「ずっと遊びに行く」となっているものの、一方では「20 歳まで」が 28.3%、「25 歳まで」が 24.0%、「30 歳まで」が 11.9% と、過半数を超える利用客が「30 歳まで」しか遊びに行かないと答えている。18 ～ 30 歳の利用客では、60.4% が「40 歳まで遊びに行く」と答えており、11 ～ 17 歳の利用客に比べるとぐんと増えている。

「第17回アミューズメント施設 管理者のための青少年指導員 養成講座」を開催 (3/5~7)



(社) 青少年育成国民会議専務理事
上村 文三氏

3月5日~7日の3日間、亘り、九州・沖縄地区の店舗及び営業所の管理者・管理者候補を対象とした「青少年指導員養成講座」が福岡県糸島郡・志摩倶楽部にて開催された。

同研修会は、青少年の現状や問題点を理解し、青少年に対して適切な助言・指導の目的に行なわれており、今年で既に17回目を数える。今回の参加者は57名。司会

は(社)青少年育成国民会議育成運動部副部長・森田廣氏。研修会の開講式は時刻の午後1時より、AOU研修委員長・畑崎夫氏の挨拶で始まり、続いてAOU九州・沖縄地区協議会会長・長友隆典氏、(社)青少年育成国民会議専務理事・上村文三氏が挨拶を行なった後、講義へと移った。

○1日目
○第1講義(1時20分~2時40分)
「子供・若者」

子育てとゲーム場との関係、青少年の非行について説明。なぜ子供が非行に走るのか、受講者が子供にどう接すればいいのかを述べた。続いて現在、8割以上の子供達がゲームセンターに行ったことがあるというアンケート結果をもとに、ゲーム管理者への期待、アルバイトスタッフへの接し方をレクチャーし、非行防止とゲームセンターとの関係の重要性について強調した。

○グループディスカッション(2時50分~8時)
テーマ「こんな時どうしますか?」

研修者をA~Gまでのグループに分け、与えられたテーマについてディスカッションが行なわれた。

○2日目
午前6時30分起床。6時45分には研修所前の駐車場広場に集合し、全員でラジオ体操。簡単なゲーム、発声練習などが行なわれた。朝食後、午前9時より研修会が再開され

た。

○全大会(9時~10時30分)
「グループディスカッションの報告と質疑」

各班が前日のディスカッションの内容を発表。発表内容は、人間関係のトラブルについて、店内のトラブルについて、近隣同業者とのコミュニケーションについて、健全な店舗づくりについてなど。青少年の育成について、同業者のネットワークを強化する、地域とのコミュニケーションをより深くする、といった意見が述べられた。

全ての班の発表が行なわれた後、上村氏をはじめとした審査員(12名)が投票(1人3票)、トップの優秀賞から3位までを決定し、その3班に賞品が授与された。

○第2講義(1時~2時30分)
「子供の時間が失われている」



福岡教育大学教授・保健管理センター所長
磯 浩一氏

磯氏は「最近の子供は何かに熱中するという時間を無くしている。そのためにみんな無気力になってしまい、結果として倫理の輪も失われている」と述べ、「それを改善す

るためには子供たちに「子供の時間」を返すことが大切。我を忘れるほど熱中できる時間を認め、それを保護するべき」と強調した。また、このことは子供達を預かるゲームセンターの人間にとっても重要であると語った。

○グループディスカッション(2時45分~5時30分)
テーマ「理想的な店舗とは」

研修者をA~Iまでのグループに分け、第2回目のディスカッションが行なわれた。夕食後、レポート及びアンケートを集計。次のような回答が返ってきた。

○アンケート結果
・第1講義が理解できたか? 十分出来た24名・まあ出来た35名

・1回目のグループディスカッションに積極的に参加できたか? 十分出来た28名・まあ出来た21名・あまり出来なかった8名・全然出来なかった1名

また、59名中53名がこの研修の内容に満足と回答。32名が「自信が沸いた・何か出来るような気分になった」と回答した。

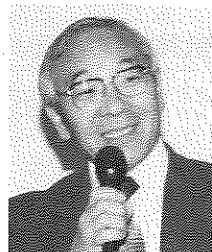
また、レポートには、「不良を排除するのではなく受け入れる努力をしたい」「地域との連携、業界とのネットワ

ークを強化したい」「私たちがお客様を運営する」など、どれも積極的な内容のものが記入されていた。

○3日目
○第3講義(9時~5時30分)
「現代青少年の意識と行動」

発達心理学を専門とする横山氏は、「最近の子供は年齢相応に育っていない。7歳に覚えるべき生活習慣を覚えていないため、20歳になっても朝一人で起きられない。また、コミュニケーションをとる力も弱く、その結果、自己中心的で想像力がなく常識を知らない人間が増えた。彼等はプログラムされたものでないと遊べない」と述べた。「これを解決していくためには、生きる力を育てていくことが必要。また、遊びに関わる人と信頼関係を築いていかなければいけない」と強調した。

○閉講式
JOU理事長松本昭夫氏の挨拶で閉講式が始まり、参加者全員に「指導員の証」が授与された。



福岡教育大学教授
横山 正幸氏

各地で「店舗管理者研修会」を開催

同研修会は、店舗を運営していく上での従業員の質の向上、地域社会と接していく上での店舗の良質化を図ることを目的に行なわれているもの。



中国地区協議会 店舗管理者研修会

広島

○第1日目

○「店舗における問題点と留意事項」



広島県警生活安全全部
生活安全企画課
阿部光治課長補佐



広島県警生活安全全部少年課
吉村匡可
管理官兼少年補導官

警察内における安全課の役割や現状などを説明。
○「少年非行の概況とゲームセンター」

広島県警本部資料「平成8年中の非行少年等補導状況」を配付し、非行のタイプや学職別などの具体的な数字を参考にしながら、少年非行の概況が述べられた。
○「企業ボランティアへの招待」

前出の阿部補佐の講義内容との重複を避けるため、企業単位で参加するボランティアについての講習となった。
○「店舗管理のノウハウ」

講師／畑晴夫研修委員長
店舗スタッフの評価の仕方や多種の景品が入るキーホルダープライズ機の中での人気景品の割り出し方、さらに町内活動参加の重要性など、実際にオペレーターとして活躍する同氏の体験談を交えての店舗管理に関する講習となった。
○グループディスカッション

研修者48名を7組のA、G班に分け、与えられたテーマについてのディスカッションが行なわれた。



(財)広島県防犯協会
連合会
増田時美氏

○第2日目

○「接客マナー」



日本経営指導協会
瀬戸真知子代表講師



JQヒロシマ
渡辺恭代専任講師

昨今のロケーションに於ける客層の多様化から、従業員は全ての世代のお客とコミュニケーションを取れるようになる必要があると説明。
○グループディスカッション

AOU研修委員会、畑晴夫委員長の司会により、前日のグループディスカッションの発表が行なわれた。
○閉講式

四国地区協議会 店舗管理者研修会

高松

○第1日目

○「接客の心得」

中国地区協議会

四国地区協議会

北海道地区協議会

3月10・11日（広島市・県民文化センター内・鯉城会館／48名参加）
3月12・13日（香川県高松市・高松テレビサ／50名参加）
3月14日（札幌市・共済ビル／95名参加）
（札幌市・共済ビル／95名参加）



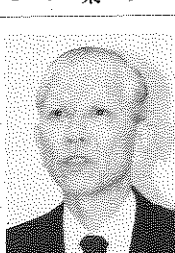
日本経営指導協会
咲坂サユリ参与

施設への来場者に対し、どのようにして「心温まる思い」を与えるか、そのためのコミュニケーションを取る際は、何に気を払うべきかなどを講義。

○「店舗管理のノウハウ」

講師／畑晴夫研修委員長
ここ最近の携帯電話の普及率上昇を例に、消費行動の選択肢の増加がゲーム業界不況の一因でもあると説明。

また、施設経営者としての立場から、施設の運営上従業員が押さえておくべきポイントやプライズゲーム景品についての工夫、周辺地域での関係団体などとの連携の重要性を講義した。



(財)香川県防犯協会
連合会
田岡正雄専務理事

○グループディスカッション

風俗環境浄化協会発足の経緯やその業務内容、青少年の健全育成などについて講義。

○グループディスカッション

昼食休憩の後、AOU研修委員会・羽生勲副委員長の司会により前日のグループディスカッションの発表が行なわれた。

○閉講式



北海道警察本部生活
環境課
合田優課長補佐

○「風営適正化法とゲームセンター」

風営適正化法が施行されるに至った経緯と8号営業の位置づけ、店舗管理者の任務、暴力団に対する注意事項などを講義。



北海道警察本部少年課
少年指導担当
吉田義彦課長補佐

○「CSマナーセミナー」

いかに満足感を与え、リピーターとなってもらおうかという観点から、より良いサービス



ドゥ・クリエーション

杉原加奈子氏

「店舗管理者研修会」
3 地域での開催が決定して
おり、各地区協議会との連絡
の結果、次の通り研修委員の
派遣を決定した。(敬称略)

中国地区(広島市) / 3月
10、11日 / 畑、福田
四国地区(高松市) / 3月
12、13日 / 畑、羽生、多田
北海道地区(札幌市) / 3
月14日 / 派遣せず。

「青少年指導員養成講座につ
いて」
九州・沖縄地区協議会が福
岡市で3月5、6、7日に開
催する。

(財)北海道風俗環境
浄化協会

深谷次彦氏

「風俗環境浄化協会に係わ
る事業について」
風俗環境浄化協会の性格、
業務内容を説明したほか、風
俗営業所管理者の制度・資
格・遵守事項・禁止行為・行
政処分などについて、法令と
照らし合わせながら講義を行
なった。

○閉講式

第24回研修委員会
各研修会への対応につ
いてなど (2/26)

2月26日、第24回研修委員
会(畑晴夫委員長)が開催さ
れた(AOU事務局会議室、
午後1時～4時、8名出席)。
◎各研修会への対応について

「店舗管理者研修会」
3 地域での開催が決定して
おり、各地区協議会との連絡
の結果、次の通り研修委員の
派遣を決定した。(敬称略)

中国地区(広島市) / 3月
10、11日 / 畑、福田
四国地区(高松市) / 3月
12、13日 / 畑、羽生、多田
北海道地区(札幌市) / 3
月14日 / 派遣せず。

「青少年指導員養成講座につ
いて」
九州・沖縄地区協議会が福
岡市で3月5、6、7日に開
催する。

委員派遣及び実務担当者は
次の通りとする。

研修委員 / 畑、羽生、島田
事務局 / 櫻井(秀)

なお、講座最終日に予定し
ていた研修委員会は、本委員
会に代えて開催しないことに
した。

「第4回AOUアミューズメ
ントセミナーについて」
平成9年3月24日に東京で
開催されるセミナーの概要が
示され、詳細については講師
陣や会場との打合せで決定す
ることになった。

なお、JAMMAの法務・
税制委員会の方々に案内し
て、聴講を促すことにする。

◎平成9年度委員会活動計画
について

店舗管理者研修会につい
て、一部の会員から毎年の受
講が困難であるとの意見が出
されたり、風俗環境浄化協会
主催の講習会と重なる年があ
ることから、3年毎の開催を
検討したいとの意見が出た
が、8号営業中心の講義で講
習会を越えた内容で実施して
いることと、将来は講習会に
代わる研修会にしたいとの目
標を持つていること等から、
少なくとも3年間は当初の計
画通り継続することにした。

青少年指導員養成講座は青
少年の健全育成を主題とした
講座であり、店舗管理者研修
会とは切り離して、単独で開
催することが望ましい。

予算措置については運営委
員会と理事会の討議を待つこ
とにした。

AOUセミナーは今回が4
回目、東京、東京、大阪、
東京の順で開催されることに
なるが、開催地や講座内容は
今後の検討で決めることにな
るが、年1回の開催は継続し
たい。

各種研修会が年度末に集中
するのは好ましくなく、年を
経ながら改善していくことを
確認した。

次回の委員会開催は5月14
日(通常総会)以降に開催す
る。

第27回運営委員会

平成9年度事業計画・収
支予算案について(3/3)

3月3日、第27回運営委員
会(入江昭造委員長)が開催
された(AOU事務局、午後
1時～4時、13名出席)。

◎平成9年度事業計画と収支
予算案について

前回の討議に引き続き、事
業計画および収支予算につい
て検討した。平成8年度の収
支がマイナス予算をカバーし
て、プラスの繰越金を見込め
ることから、緊縮予算を基調
にしながも、一部事業の継
続実施等を次のとおり決定
し、理事会に諮ることにした。

青少年指導員養成講座を店
舗管理者研修会と切り離して
単独で開催する。全国大会で
AOUセミナーを併催する案
に代えて、全国協会長会議を
開催することにする。

全国大会補助金は例年通り
200万円を計上する。

「障害者ふれあいフェステ
イバル」を開催することとし、
1または2の地域で行なう。

事務局社員研修旅行費は1
人あたり5万円を限度に予算
計上する。

◎その他
・AOU実態調査にあたり、
機密保持の程度についての認

識に混乱があったが、今後は
調査内容により十分な配慮を
加えて実施することにする。
なお、今回調査の未回答者へ
の説得を課題として残すこと
とする。

・消費税対応、営業時間の延
長等の規制緩和については運
営委員会検討することとし
た。

・各専門委員会の委員構成に
ついて再検討することにし
る。

警察庁人事

3月7日付で次の通り移動
がありました。

警察庁生活安全局生活環境
課・田中靖之係長が警視庁池
袋警察署生活安全部少年担
当に栄転され、後任に一戸達
(いちのへ・さとる)係長が
就任しました。

業界誌購読料の特典(UGL)

この度、平成9年4月1日
よりAOU賛助会員並びにA
OU会員傘下の事業者を対象
に、下記の業界誌購読料につ

いて、会員価格が適用され
ることになりましたのでご
連絡いたします。

◎年間購読料

月刊「コインジャーナル」
19,800円

《一般価格》
14,800円(25・2%引)

月刊「アミューズメント産
業」
9,800円

《一般価格》
7,300円(25・5%引)

なお、月刊「コインジャ
ーナル」については、19,
800円を振込んだ場合、
差額の返金はなく、購読期
間が12か月から16か月に延
長されます。

◎適用範囲

・AOU会員団体傘下の会
員及び準会員

・AOU営業者賛助会員

・AOU関連業者賛助会員

◎適用方法

年間購読料の振込みの際、
会社名の後に「AOU」と
記入すること。

AOU傘下会員の判別は、
AOU発行の会員名簿への
記載をもって行います。

◎実施日

平成9年4月1日以降の
購読料振込みより実施する。

各地協会

だより

広く新会員を募り会員増強に努める。合わせて会員との違い等を明確にする為の草案も早急に作成する。

●メーカー3社商品説明
(株)タイトー・内藤氏、(株)セガ・前原氏、(株)ナムコ・小野氏による商品説明が行なわれた。

形例会を開催

次期会長選出等について審議
2月25日

山形県アミューズメント施設営業業者協会(佐藤昭一会長)は2月25日、例会を開催した(上山温泉、午後5時～9時、8名出席)。

事務局活動報告

平成9年1月末迄の活動報告を行なった。

●次期会長(事務局兼任)選出について
出席者全員の推薦により(株)クリエートの鈴木正克氏に決定、承諾の打診をすることにした。

懇談会開催について

継続審議案件のひとつである、県と市の生活安全企画課及び県防犯協会との懇談会開催実現に向け、新年度より活動する事を申し合わせた。

●会員増強について

新たに準会員制を制定し、

梨例会を開催

景品問題等につき審議
2月7日

山梨県アミューズメント施設営業業者協会(日達健会長)は2月7日、例会を開催した(甲府市・市民総合会館内レストラン、午後1時～3時、出席者7社7名)。

議題は左記の通り。

●高額景品について

非協会員に高額景品使用の疑いがある為、調査後、注意を行なう。

●いじめ防止ポスターについて

●その他、連絡事項及び情報交換

重 「いじめ防止ポスター」

配布などについて打ち合わせ
2月6日

三 三重県アミューズメント施設

営業業者協会(松本静雄会長)では、去る2月6日に県警本部少年課を訪問。

松本会長、鈴木副会長の2名が「いじめ防止ポスター」を持参し、その配布や掲示方法などについて担当官と打ち合わせを行なった。

岐阜 第4回理事会を開催

AOU全国大会の対応などにつき審議
2月13日

岐阜県アミューズメント施設営業業者協会(真鍋巧会長)は2月13日、第4回理事会を開催(ゲームファンタジアン4F、午前10時30分～12時、8名出席)、左記議題を審議した。

●AOU全国大会の対応について

協力する方針ではあるが、適当な人材がいらない為、実行委員会への参加は見合わせることにした。

●退会会員について

喫茶ロンドン、(有)オフィストーカーが廃業の為退会。

●会費未納会員の処分について

(有)友近商会から退会希望の申し出があった。正式に届け出があり次第、退会扱いにする。

●AOUからの書類の会員配布について

資料の有効な活用を図るため、今後は資料の表題を会員へ案内し、申し出のあった会

員へ資料を送付する方法をとる。

●協会入会の案内作成について

至急作成にかかる。

滋賀 滋賀県警本部よりの警告文書を配布

2月24日

滋賀県アミューズメント施設営業業者協会(朝日正博会長)では、2月24日付けで滋賀県警本部生活安全部長よりの警告文書、協会長名での依頼文書を会員及び県内非会員業者に配布した。

この警告文書は、滋賀県東町で無許可営業を行なっていたカジノバーが摘発されたことを受け、滋賀県警本部生活安全部長より朝日会長宛に送られてもので、賭博事犯の防止とその協力が呼びかけられている。

京都 第70回理事会、第15回総会を開催

2月24日/3月14日

京都府アミューズメント施設営業業者協会(吉田勲会長)は2月24日、第70回理事会を開催した(京新山、午後6時30分～7時20分、9名出席)。

●KAO総会開催日程について

●役員改選について

●その他

当日は開催に先立ち、昨年末に(株)ナムコが京都にオープンした「ナムコ・ワンダータワー」の視察見学会を、ナムコ京都営業所増田理事及びワンダータワー店長筒井氏の案内にて約1時間に亘り行なった。

また、同協会は3月14日、第15回総会を開催した(京都タワーホテル、午後2時～3時、出席者10名、委任状5名)。同総会では左記の議題を審議した。

●平成8年度事業活動報告

●平成8年度収支決算報告

●平成9年度事業計画案

以上の議題について報告がなされ、全員一致で承認された。

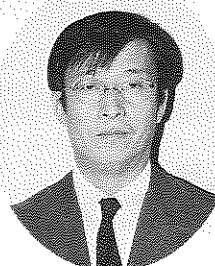
●任期満了に伴う理事・役員改選の件

8年間会長職を務めた吉田勲氏が退任することとなり、新会長には蕭明彦副会長(株)パピヨン)が就任することになった。

また、副会長職の2名には留任の西村忠雄氏(ビデオイン・ドリム)のほか1名を、(株)セガ・エンタープライゼス、(株)タイトー、(株)ナムコの3社が持ち回りで務めることとなり、今期はセガ社の藤井

正造氏が副会長に就任することとなった。

合わせて、今期より名久井俊彦氏(タイコー物産(株))が理事に就任することとなった。



蕭明彦新会長

●来賓挨拶

京都府警察本部生活安全全部安全企画課・宮川和夫課長補佐、(社)京都府防犯協会連合会・若田孝男専務理事の2名が来賓として招かれ挨拶を行なった。

以上で総会を終了し、その後、同ホテルにて懇親会が催された。



京都府協会総会の模様

